

地

球

昭和拾年

六月

第貳拾參卷

地球 第貳拾參卷 總目錄 昭和十年 一月—六月 (アラビア數字は號數を示す)

圖版

第一版	近江伊吹山白ざれと甲津原の民家	1	松山 基範	(第一號)
第二版	近江カルストの村々	1	小牧 實繁	(第二號)
第三版	石見松代産霞石	1	山口彌一郎	(第三號)
第四版	富山縣小矢部川の岩脈	1	本間不二男	(第四號)
第五版	信濃泉田村産シナノイルカ	1		(第五號)
第六版	三重縣一志郡地方地質圖	1		(第六號)
第七版	朝鮮黃海道鳳山炭田地質圖	1		
	口號第五十七潜水艦に據る日本海溝上の重力測定	1		
	姉川上流の村々	1		
	宍道湖畔布志名第三紀層の「たこぶね」の化石	1		
	炭礦民俗誌小稿(一)	2.1		
	フィンランドの想ひ出(三)	3.1		

巨椋池湖岸聚落東一口の考察(三)	1	吉田 敬市	六
近江古地誌解題(三)	2.1	増田 忠雄	七
四倉及びマチガルの淺貝階貝化石	2	榎山 次郎	八
近江カルストの村々	2	小牧 實繁	九
岐阜縣土岐口蛙目粘土に就いて	2	杉山 精一	一〇
甲斐御勅使川扇狀地近傍の諸問題	2	川手 軍造	一一
獨逸の工業地域(クリスペンデル)	2	安藤 鏗一	一二
北松浦炭田に於ける夾炭層の層序略説	3	上治寅次郎	一三
石見松代産霞石 <small>アラゴナイト</small> の晶出過程に就て	3	園山 太郎	一四
ボルネオの第三系	3	大村 一藏	一五
宮崎の南北	3	小牧 實繁	一六
小山進氏の逝去を弔ふ	3	本間不二男	一七
小藤先生の長逝を悼む	4	小川 琢治	一八
富山縣小矢部川床に露出する砂岩々脈に就いて	4	今村 外治	一九

6. 5. 3

6. 5. 4. 3. 2

一九一
三三〇
四九〇

三三〇
三三〇
三三〇
三三〇

加賀國大聖寺河口砂丘地域の研究……………4……………小牧 實繁……………三六

近世新田の一異例……………4……………米倉 二郎……………三〇

北海道膽振國山越郡ポンセイヨウベツ及び夏路の瀬棚統貝化石に就いて……………4……………大炊御門經輝……………二六

街村に就いての研究(一)……………5.4……………櫻井 靜……………三五

街村に就いての研究(二)……………5……………榎山 次郎……………三三

信濃別所頁岩に見出された中新世海豚化石……………5……………瀧本 清……………三五

三重縣一志郡地方の新生界……………5……………宮地傳三郎……………三九

日光火山彙諸湖の氷殻下に於ける觀測資料……………5……………星野 隆一……………三九

艾儒略の職方外記に就いて……………5……………鮎澤信太郎……………三四

朝鮮黃海道鳳山炭田の地質と化石……………6……………松下 進……………四〇

京都に於ける長週期の脈動……………6……………小野山武文……………四二

南洋統治領内主要島嶼の地形と地質雜觀(二)……………6……………岸 彰忠……………四〇

朝鮮稼行鑛山分布圖……………6……………小野山武文……………四二

滿洲の地質及鑛産……………6……………岸 彰忠……………四〇

世界經濟の現勢……………6……………岸 彰忠……………四〇

北海道地學に關する文獻目錄(著者別)……………1……………岸 彰忠……………四〇

新著紹介

下伊那の特殊産業	1	六	朝鮮長津江の水力發電	1	八一
江戸と大阪	1	七	享保以後の地理關係出版書目(大阪)(十二)	1	八二
露西亞縱橫記	1	七	印度に於ける農産物生産統制	2	八三
大塚地理學會論文集(第四輯)	2	一六	パレストアイン	2	八四
地理論叢(第五輯)	3	三四	間島地方の貿易	2	八五
市町村別日本國勢總攷	3	三五	(獨逸の工地域)の正誤表	3	八六
綜合郷土地誌集成	3	三五	英國人の見た日本	3	八七
日支交渉史話	3	三五	日濠間貿易	3	八八
地震とその研究	4	三二	日本品に對する一米棉業者の意見	3	八九
紀州	4	三三	西班牙の橄欖油	3	九〇
東海道道路調査報告書	5	三五	加州の鰹漁業	3	九一
樂土南洋	5	三五	シリヤ事情	3	九二
造瓦	5	三五	膠東の柞蠶	3	九三
地學辭典	6	三九	チユニス問題	3	九四
農村の工業	6	四〇	英國のセラニーズ社の人絹	3	九五
支那風土記	6	四〇	端西の牛乳	3	九六
臺灣高砂族傳説集	6	四七	朝鮮の松茸	4	九七
臺灣高砂族系統所屬の研究	6	四七	臺南第一中學校の氣象觀測	4	九八
雜報			セイロン島の自動車	4	九九
神戸市須磨區多井畑化石層	1	七	白領コンゴへの邦品	4	一〇〇
濱江省寧安縣	1	八〇	ヤクト共和国	4	一〇一
朝鮮の鐵業	1	八一	獨逸の對外貿易	4	一〇二
			獨逸と日本の貿易	4	一〇三

山東の水産	4	三八
滿洲の水運	4	三九
世界石油生産消費	4	三九
南米カリヤオ築港の完成	4	三〇
故小藤文次郎先生著述英文論文及單行本目錄	5	三六
圍爐裏の四邊の呼稱	5	三六
イラク石油のバイプライン	5	三六
比律賓ダウアオの農業	5	三九
最近五ヶ年間日英兩國製綿布月當平均輸出數量	5	三九
南棉北羊	5	四〇
支那の水力發電	5	四一
雄羅トンネル全道	5	四三
四川省の米	6	四二
日英間の貿易品	6	四三
馬鈴薯	6	四四
日本の華果	6	四七
日本の梨	6	四七
英國の蠶産業	6	四六
印度の紡績	6	四七
ブラジル在留邦人	6	四七
瑞西と日本との貿易	6	四八
スマトラと日本との貿易	6	四九
滿鮮國境を貫く大道路	6	四〇

豆滿江上流からダイヤモンド發見…………… 四〇

地球

第 一 號 第 三 十 二 卷

昭和十年一月一日發行

目 次

圖版 第一版 近江伊吹山白ざれと甲津原の民家

口號第五十七潜水艦に據る日本海溝上の

重力測定……………理學博士 松山基範

姉川上流の村々……………文學士 小牧實繁

宍道湖畔布志名第三紀層の「たこぶね」の

化石……………園山市太郎

炭礦民俗誌小稿(一)……………山口彌一郎

フィンランドの想ひ出(二)……………理學士 本間不二男

巨椋池湖岸聚落東一口の考察(二)……………吉田敬市

近江古地誌解題(一)……………文學士 増田忠雄

新 著 紹 介

雜 報

第 二 十 二 卷 總 目 録

京 都 帝 國 大 學 內

地 球 學 團

地球第二十三卷第一號 (昭和十年一月)

目次

圖版 第一版 近江伊吹山白ざれと甲津原の民家

口號第五十七潜水艦に據る日本海溝上の重力測定……………理學博士 松山基範……………一

姉川上流の村々……………文學士 小牧實繁……………三

安道湖畔布志名第三紀層の「たこぶね」の化石……………園山市太郎……………壹

炭礦民俗誌小稿(一)……………山口彌一郎……………毛

フィランンドの想ひ出(二)……………理學士 本間不二男……………貳

巨椋池湖岸聚落東一口の考察(二)……………吉田敬市……………六〇

近江古地誌解題(一)……………文學士 増田忠雄……………七〇

新著紹介

○北海道地學に關する文獻目錄

○朝鮮稼行鑛山分布圖

○滿洲の地質及鑛産

○世界經濟の現勢

○下伊那の特殊産業

○江戸と大阪

雜報

○露西亞縱橫記

○神戸市須磨區多井畑化石層

○濱江省寧安縣

○朝鮮の鑛業

○朝鮮長津江の水力發電

地球學團規約

- ① 第一條 本團を地球學團といふ。
- ② 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- ③ 第三條 事務所を京都市白川退分町京帝國大學地質學教室内に置く、又は會員が多い地方には支部を置く事がある。
- ④ 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 雜誌並に圖書の刊行
 講演並に講習會の開催
 實地見學の指導
- ⑤ 第五條 本學團は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- ⑥ 第六條 本學團員になりたい人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を發行所へ送金する事。
- ⑦ 第七條 學團を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- ① 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申込下さい。
- ② 本誌の御注文代金郵税共すべて前金にて御送り下さい。
- ③ 振替代用にての御注文は一割増に願上候。
- ④ 七番(博多成象堂)に願上候。
- ⑤ 前金切れの場合「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下さい。
- ⑥ 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下さい。

定價

一冊(前金)	定價金五十錢	郵税金壹錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

特大號定價の差額は別に申受候

廣告料 一頁 金五十圓

昭和九年十二月廿五日印刷納本(第二十三卷) 定價金五拾錢
 昭和十年一月一日發行(第一一號)

許不複製
 禁轉載

發行所

編輯者 京帝國大學 地球學團
 右代表者 藤田元春
 發行所 博多久吉
 印刷者 井下精一郎
 印刷所 井下書籍印刷所
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 電話特南壹壹七七番

發賣所

東京市神田區錦町三丁目拾貳番地
 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
 博多成象堂
 振替(東京五貳六〇七番 大阪七參參參番)

所 捌 賣
 (東) 東京 東海堂 大東館
 (大) 大阪 北隆館
 (神) 神戸 寶文館
 (京) 京都 共盛社
 (名古屋) マガジン 川瀬書店 星野書店
 (大) 大阪 參文社
 (神) 神戸 川瀬日進堂
 (京) 京都 大盛社
 (名古屋) マガジン 川瀬書店

CHIKYŪ THE GLOBE

Vol. XXIII. No. 1.

January, 1935.

Plate 1. Mount Ibuki and a Rural House at Kōtsuhara,
Shiga Prefecture.

Measurements of Gravity over the Nippon Trench on board
the I. J. Submarine Ro-57.

By M. Matuyama, *R. H.* 1

Villages in the upper Course of the River Ane, Shiga
Prefecture.

By S. Komaki, *B. S.* 13

Fossil Argonauta in the Tertiary at Fushina, Shimane
Prefecture.

By I. Sonoyama 35

Folk-lore around the Coal Collieries.

By Y. Yamaguchi 37

Trips to Finland. (2)

By F. Homma, *R. S.* 48

A Study of Higashi Imoarai on the Shore of Lake Ogura. (2)

By K. Yoshida 60

Explanation of the Geographical Works of Ōmi Province. (1)

By T. Masuda, *B. S.* 70

New Books—Geographical Notes.

Index to the Volume XXII.

Chikyū Gakudan

Kyōto Imperial University